

教育に関する情報、意見をお寄せください。  
TEL0138・43・2121 FAX0138・43・3131

## 地方創生☆政策アイデアコンテスト

# 市函高が道経済産業局長賞



道経済産業局長賞を受賞した生徒

## 函館山の「朝夜景」を提案

学生や社会人が地域を元気にする政策アイデアで競う「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」（内閣府主催）に、市立函館高校（佐竹卓校長）2年の生徒6人でつくる「『朝夜景』プロジェクトチーム」がアイデアを応募し、高校生・中学生以下の部で道経済産業局長賞を受賞した。26日に同局の小柳津直哉総務企画部長が来校し、生徒に賞状を手渡した。今後、同チームのアイデアは全国審査に進み、書類審査を通過すると、12月14日に東京都内で開かれる最終審査会（プレゼンテーション審査）への出場権が得られる。

（飯尾遼太）

### 「この勢いで全国の舞台へ」

同チームは昨年の学校祭 名付けて発表。これをきつで、日の出の約30分～1時 かけに昨年11月に開かれた間前の函館山からは、朝焼 「はこだて学生政策アイデアと街の明かりが一度に見 アコンテスト」にも「朝夜

の多くが日帰りで観光を終えてしまうという課題を解決することを提案し、優秀アイデア賞を獲得した。

今回のコンテストでは、これまで発表内容に磨きをかけ、「朝夜景」を新たな観光資源とすることで観光客の活動時間が早まり、朝市がさらににぎわうなどのメリットや観光客が増えた場合の経済効果も示した。さらに「朝夜景」を「はこだてクリスマスファンタジー」や札幌市で開かれる「さっぽろ雪まつり」といったイベントとともに楽しんでもらう観光プランも提案し、「地域活性化は収益だけでなく、地域の人も生き生きできることが大事」とした。

今回の受賞に、リーダーの久保奏太さん（17）は「自分たちのアイデアに自信はあったが、賞をとれるとは思っていなかったのですね」と喜び、「この勢いで書類審査も通過し、全国の舞台でも賞をとりたい」と意気込みを語った。